



JPI催しのご案内

2011

2

月

社団法人 日本包装技術協会 関東支部

開催要領

会場 社団法人 日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
日時 平成23年2月22日(火) [第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00
参加費 JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,150円(1講演あたり)

第1部 第184回輸送包装研究会

13:15~15:00

【テーマ】「複合機の梱包スタイルの変遷と設計のポイントについて ~紙系緩衝材への歩み~」

環境保護対応のため、PS,PEを主とした緩衝材から紙系緩衝材への切り替えに取り組んできた弊社の複合機の梱包スタイルの変遷と設計のポイントについて、過去の事例を中心に発表する。

【講師】京セラミタ(株) 技術本部 MD22課 中村敏之氏
 【コーディネーター】日立電子サービス(株) 技術開発本部 マルチベンダ・アライアンス部 第1グループ 包装専士 高橋二郎氏
 オリジナル(株) コーポレートセンター 物流推進部 課長 包装管理士 栗原正美氏

第2部 第186回生活者包装研究会

15:15~17:00

【テーマ】「東京パック2010及び最近の国内外にみる機能性包装動向」

パッケージは、社会・ライフスタイルの変化と共に常に変化している。東京パックにみる機能性の変化を世界と照らしながら説明する。

- Stand up Pouch の次の発展要素
- グラフィックデザインの役割変化 - 更なる店頭効果、デジタル印刷とビジネスモデル変化
- 段ボールに求められる機能 - 国内と海外の違い
- ロングライフ化への対応機能 - CO2 排出量削減効果、おいしさ追求
- 内容物の非粘着へのニーズ
- パッケージ材料の Renewable 性 - 成型性の良い紙、植物由来の樹脂
- グローバルに展開できる機能 - 追い上げ早い海外企業、文化の違いによるパッケージ
- Sustainability、安全性、利便性、Quality of Life 等の動き

【講師】住本技術士事務所 所長 住本充弘氏
 【コーディネーター】DIC(株) 包装資材技術開発プロジェクト リーダー 包装専士 松原弘明氏
 丸金印刷(株) 営業2部 1課 包装専士 伊藤究氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

2月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部